

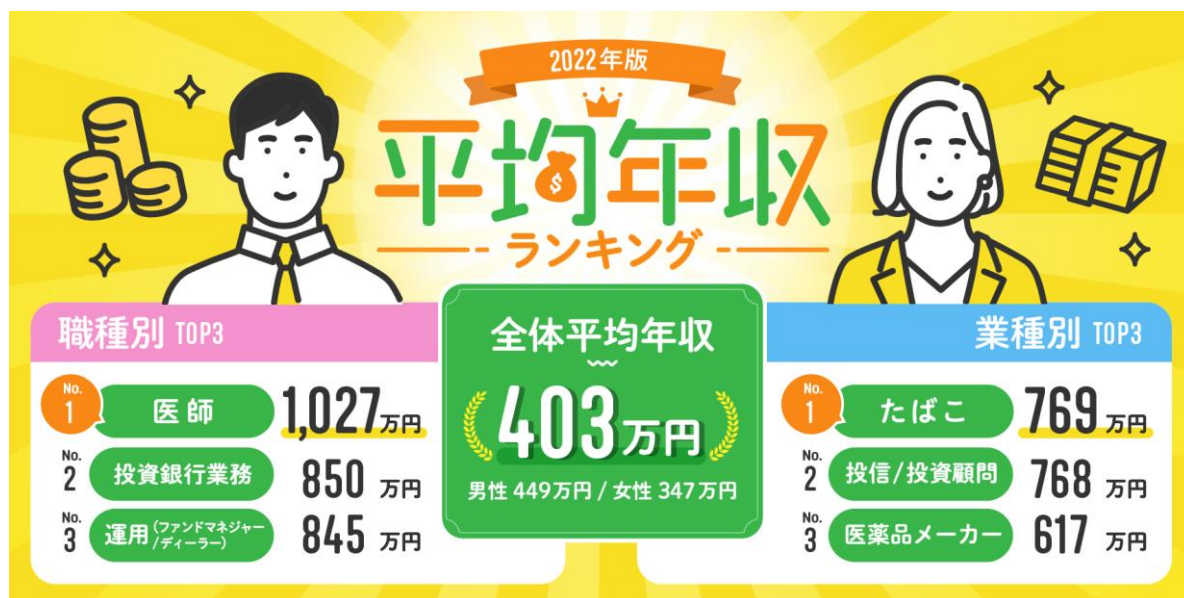
転職サービス「doda」、「平均年収ランキング 2022」を発表 正社員の平均年収は前年と変わらず 403 万円、回復の兆しはまだ見えず ～職種別では「コンサル」、業種別では「メーカー」「金融」「メディカル」がランキング上位に～

パーソルキャリア株式会社が運営する転職サービス「[doda \(デュダ\)](https://doda.jp)」（編集長：大浦 征也）は、「平均年収ランキング 2022」を発表しましたので、お知らせいたします。本調査は、2021年9月～2022年8月の1年間に転職サイト「doda」のサービスに登録した約56万人のデータを元に、正社員として働く20歳～65歳までのビジネスパーソンの平均年収をまとめたものです。また、「doda 女性の転職・求人情報 Woman Career」ではその中から女性のデータをピックアップし、「女性の平均年収ランキング 2022」としてまとめ、公開しています。

■調査結果詳細：

「平均年収ランキング 2022」<https://doda.jp/guide/heikin/>

「女性の平均年収ランキング2022」<https://doda.jp/woman/guide/heikin/>



【主な調査結果】

- ◆ 2022年の平均年収は403万円で、前年から変化なし
- ◆ 職種別で見ると、1位は「技術系（メディカル/化学/食品）」の「医師」で1,027万円
トップ20に「専門職（コンサルティング/専門事務所/監査法人）」が最多6職種ランクイン
－前年から最も年収が上昇した職種は、「金融系専門職」の「運用（ファンドマネジャー/ディーラー）」で+101万円
- ◆ 業種別に見ると、1位は「メーカー」の「たばこ」で769万円
トップ20のうち17を「メーカー」「金融」「メディカル」系業種が占める
－前年から最も年収が上昇した業種も、「メーカー」の「たばこ」で+117万円
- ◆ 年代別に見ると、「20代」の年収は前年から年収1万円増。「30代」「40代」「50代以上」は年収減
- ◆ 都道府県別に見ると、1～5位までを関東エリアが占め、いずれの都県も前年より年収増

【総括】

過去5年間で11万円落ち込み、平均年収回復の兆しはまだ見えず。「年収アップ」も視野に、転職が増加

2022年の平均年収は、2021年から変わらず403万円でした。しかし、2018年からの5年間でみると、平均年収は414万円から11万円落ち込み、減少傾向です【図①】。男女別では、男性が455万円から449万円に6万円ダウン、女性が348万円から347万円に1万円ダウンという結果となり、平均年収が回復する兆しはまだ見えていません。

厚労省発表の『毎月勤労統計調査』によると、物価変動の影響を考慮した2022年の実質賃金は連続で前年同月比マイナス^{※1}となっています。そのため、普段の生活で使えるお金は減っていると感じるビジネスパーソンも多いでしょう。

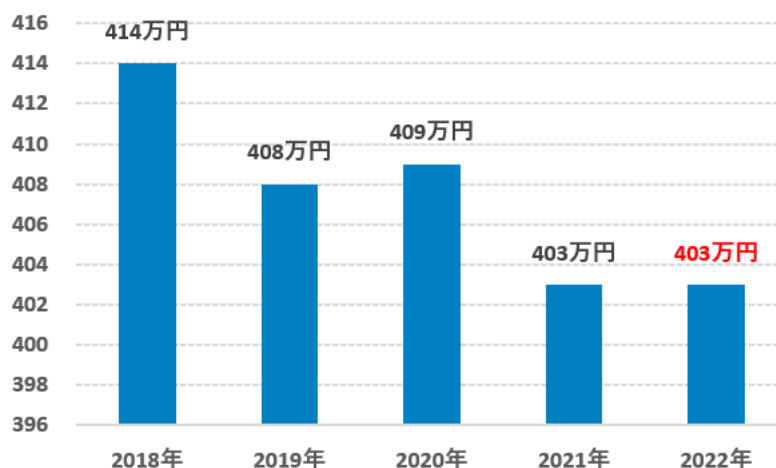
この状況下で、転職活動に乗り出す人は増加しています。実際に「doda」の転職求人倍率レポート^{※2}では、求人数だけでなく転職希望者数も増加傾向にあります。さらに「doda」が2021年に行った転職理由ランキング調査では、転職理由^{※3}のトップは「給与が低い・昇給が見込めない」であることが分かっています。転職によって必ず年収アップが実現できるわけではありませんが、年収水準がより高い企業や、自分にあった評価制度やインセンティブが用意されている条件の企業に転職成功すれば、その可能性は高まります。そのため、現在の適正年収を知る、そして目標とする年収を明確にすることが重要といえるでしょう。

※1：2022年12月現在

※2：転職求人倍率レポート（https://doda.jp/guide/kyujin_bairitsu/）

※3：転職理由ランキング（<https://doda.jp/guide/reason/>）

【図①】 平均年収の推移（過去5年）



転職サービス「doda」、「平均年収ランキング2022」（2022.12）

■職種別：トップ20に「専門職（コンサルティング／専門事務所／監査法人）」が最多6職種ランクイン

職種別の平均年収ランキングトップ20に最も多くランクインした職種分類は「専門職（コンサルティングファーム／専門事務所／監査法人）」で、6職種でした。具体的には、「業務改革コンサルタント（BPR）」（7位・680万円）、「リスクコンサルタント」（8位・678万円）などが該当します。それに次いで「企画／管理系」が5職種、「技術系（IT／通信）」が4職種ランクインしました。

また、全167職種のうち、ランキング1位は「技術系（メディカル／化学／食品）」の「医師」（1,027万円）でした。2位と3位には「金融系専門職」の「投資銀行業務」（850万円）と「運用（ファンドマネジャー／ディーラー）」（845万円）が続きました。

前年からの変化を見ると、最も平均年収が上昇したのは3位の「運用（ファンドマネジャー／ディーラー）」（845万円、昨対+101万円）、次いで、22位の「営業-証券」（570万円、昨対+59万円）でした。

→【表①】 職種別ランキング上位50位はP.4に掲載

■業種別：トップ20のうち17を「メーカー」「金融」「メディカル」系業種が占める

業種別の平均年収ランキングトップ20にランクインした業種分類は、前年から大きな変化はありませんでした。1番多かったのは「メーカー」と「金融」で、それぞれ6業種でした。「メーカー」に分類されるのは「たばこ」(1位・769万円)、「トイレタリー」(6位・552万円)など。「金融」には「投信／投資顧問」(2位・768万円)をはじめ、「証券会社」(5位・575万円)などが該当します。それに次いで「メディカル」が5業種ランクイン。「メディカル」には「医薬品メーカー」(3位・617万円)や「医療機器メーカー」(9位・537万円)が該当します。

また、全95業種のうち、ランキング1位は「たばこ」(769万円)、2位は「投信／投資顧問」(768万円)、3位は「医薬品メーカー」(617万円)でした。前年から1位と2位が入れ替わったものの、上位3業種は前年と同様の結果となりました。

ランキング1位、2位の「たばこ」と「投信／投資顧問」は、前年からの年収上昇幅でもトップ1位・2位となり、「たばこ」(769万円、昨対+117万円)が最も上昇。次いで「投信／投資顧問」(768万円、昨対+106万円)でした。

→【表②】業種別ランキング上位50位はP.5に掲載

■年代別：「20代」の年収は前年から年収1万円増、「30代」「40代」「50代以上」は年収減。

「20代」の平均年収は342万円(昨対+1万円)、「30代」は435万円(昨対-2万円)、「40代」は495万円(昨対-7万円)、「50代以上」は596万円(昨対-17万円)となりました。平均年収が前年よりも上昇したのは20代のみで、30代以降は減少しています。

男女別^{※4}で見ると、前年比で20代の男性と女性はともに2万円アップしました。平均年収の減少幅が特に大きいのは50代以上で、男性で6万円、女性で11万円ダウンしています。

※4：2022年の平均年収ランキングでは性別を「選択しない」とした人の平均年収も含まれています。

【表③年代・男女別平均年収ランキング】

年代	全体	前年	増減	男性	前年	増減	女性	前年	増減
20代	342万円	341万円	↑	365万円	363万円	↑	319万円	317万円	↑
30代	435万円	437万円	↓	474万円	474万円	→	377万円	378万円	↓
40代	495万円	502万円	↓	562万円	563万円	↓	400万円	402万円	↓
50代以上	596万円	613万円	↓	658万円	664万円	↓	424万円	435万円	↓

転職サービス「doda」、「平均年収ランキング2022」(2022.12)

■都道府県別：1～5位までを関東エリアが占め、いずれの都県も前年より年収増

47都道府県のうち、1位は「東京都」で440万円(昨対+2万円)、2位は「神奈川県」で423万円(昨対+1万円)、3位は「千葉県」で410万円(昨対+2万円)、4位は「埼玉県」で401万円(昨対+4万円)、5位は「茨城県」で400万円(昨対+1万円)と、前年同様、トップ5を関東エリアが占めました。トップ20には、「関東」エリアが7都県、「東海」「関西」エリアが4府県、「北信越」「中国・四国」エリアがそれぞれ3県ランクインしています。

平均年収が前年から最も上昇したのは今回28位の「徳島県」で371万円(昨対+13万円)。次いで37位の「山形県」(昨対+12万円)、さらに17位の「香川県」(昨対+9万円)と続きました。前年から年収が上昇したのは23県、減少したのは19県、5県が変化なしでした。

→【表④】都道府県別ランキングはP.6に掲載

【表①職種別平均年収ランキング 上位50位】

順位	職種分類	職種	平均年収	前回平均年収	増減
1	技術系（メディカル/化学/食品）	医師	1027万円	-	-
2	金融系専門職	投資銀行業務	850万円	903万円	↓
3	金融系専門職	運用（ファンドマネジャー/ディーラー）	845万円	744万円	↑
4	営業系	MR	700万円	713万円	↓
5	企画/管理系	内部監査	699万円	700万円	↓
6	技術系（IT/通信）	プロジェクトマネジャー	686万円	671万円	↑
7	専門職（コンサルティングファーム/専門事務所/監査法人）	業務改革コンサルタント（BPR）	680万円	667万円	↑
8	専門職（コンサルティングファーム/専門事務所/監査法人）	リスクコンサルタント	678万円	704万円	↓
9	専門職（コンサルティングファーム/専門事務所/監査法人）	戦略/経営コンサルタント	675万円	664万円	↑
10	専門職（コンサルティングファーム/専門事務所/監査法人）	会計専門職/会計士	654万円	635万円	↑
11	企画/管理系	知的財産/特許	638万円	656万円	↓
12	企画/管理系	法務	634万円	614万円	↑
13	専門職（コンサルティングファーム/専門事務所/監査法人）	弁理士/特許技術者	626万円	-	-
14	企画/管理系	経営企画/事業企画	624万円	618万円	↑
15	企画/管理系	内部統制	614万円	621万円	↓
16	技術系（電気/電子/機械）	プロジェクトマネジメント	599万円	666万円	↓
17	技術系（IT/通信）	プリセールス	594万円	630万円	↓
18	技術系（IT/通信）	ITコンサルタント	590万円	585万円	↑
19	技術系（IT/通信）	IT戦略/システム企画	587万円	576万円	↑
20	専門職（コンサルティングファーム/専門事務所/監査法人）	組織/人事コンサルタント	579万円	554万円	↑
21	専門職（コンサルティングファーム/専門事務所/監査法人）	会計コンサルタント/財務アドバイザー	573万円	539万円	↑
22	営業系	営業-証券	570万円	511万円	↑
22	技術系（電気/電子/機械）	先行開発/製品企画	570万円	565万円	↑
24	企画/管理系	財務	569万円	569万円	→
25	企画/管理系	管理会計	566万円	563万円	↑
26	技術系（IT/通信）	研究開発	549万円	531万円	↑
27	営業系	営業-医薬品メーカー	544万円	558万円	↓
28	企画/管理系	営業企画	533万円	541万円	↓
29	企画/管理系	データアナリスト/データサイエンティスト	530万円	517万円	↑
30	技術系（電気/電子/機械）	デバイス開発	523万円	-	-
30	技術系（建築/土木）	技術開発/工法開発（建築/土木）	523万円	526万円	↓
32	企画/管理系	マーチャンダイザー	521万円	512万円	↑
32	技術系（電気/電子/機械）	回路/システム設計	521万円	523万円	↓
34	技術系（メディカル/化学/食品）	非臨床研究	517万円	539万円	↓
35	技術系（建築/土木）	設計（プラント）	516万円	506万円	↑
35	技術系（メディカル/化学/食品）	臨床開発/治験	516万円	527万円	↓
37	企画/管理系	リサーチ/市場調査	515万円	500万円	↑
38	企画/管理系	購買	513万円	506万円	↑
38	技術系（IT/通信）	データサイエンティスト	513万円	512万円	↑
40	企画/管理系	マーケティング	511万円	466万円	↑
40	金融系専門職	融資/契約審査	511万円	496万円	↑
42	技術系（メディカル/化学/食品）	技術営業/アプリケーションエンジニア	510万円	486万円	↑
43	企画/管理系	経理	507万円	503万円	↑
44	企画/管理系	人事	506万円	507万円	↓
44	金融系専門職	バックオフィス/ミドルオフィス	506万円	512万円	↓
46	技術系（電気/電子/機械）	CAE解析	502万円	484万円	↑
46	技術系（建築/土木）	不動産企画/プロパティマネジメント	502万円	502万円	→
48	技術系（メディカル/化学/食品）	薬剤師	501万円	492万円	↑
49	企画/管理系	商品企画/開発	487万円	477万円	↑
50	金融系専門職	債権回収	486万円	-	-

転職サービス「doda」、「平均年収ランキング2022」（2022.12）

【表②業種別平均年収ランキング 上位50位】

順位	業種分類	業種	平均年収	前回平均年収	増減
1	メーカー	たばこ	769万円	652万円	↑
2	金融	投信／投資顧問	768万円	662万円	↑
3	メディカル	医薬品メーカー	617万円	628万円	↓
4	サービス	財務／会計アドバイザー（FAS）	584万円	555万円	↑
5	金融	証券会社	575万円	558万円	↑
6	メーカー	トイレタリー	552万円	524万円	↑
7	金融	信託銀行	545万円	545万円	→
7	メーカー	総合電機メーカー	545万円	521万円	↑
9	メディカル	医療機器メーカー	537万円	554万円	↓
10	金融	都市銀行	530万円	516万円	↑
11	サービス	コンサルティングファーム／シンクタンク	519万円	499万円	↑
12	金融	リース	515万円	523万円	↓
13	メディカル	診断薬／臨床検査機器／臨床検査試薬メーカー	508万円	531万円	↓
14	建設／プラント／不動産	ディベロッパー	497万円	469万円	↑
15	メディカル	CRO／SMO／CSO	492万円	490万円	↑
16	メディカル	バイオ関連	490万円	508万円	↓
17	メーカー	香料	480万円	456万円	↑
18	金融	損害保険	477万円	468万円	↑
19	メーカー	化学メーカー	475万円	474万円	↑
20	メーカー	自動車／輸送機器メーカー	473万円	472万円	↑
20	建設／プラント／不動産	不動産金融	473万円	466万円	↑
22	メディカル	医療広告代理店／出版社／マーケティング／リサーチ	472万円	-	-
23	メーカー	電子／電気部品メーカー	471万円	487万円	↓
24	メーカー	機械／電気機器メーカー	463万円	464万円	↓
25	金融	住宅ローン	462万円	472万円	↓
26	IT／通信	ITコンサルティング	461万円	458万円	↑
27	サービス	マーケティング／リサーチ	459万円	465万円	↓
28	IT／通信	システムインテグレータ	458万円	452万円	↑
29	建設／プラント／不動産	ゼネコン／サブコン	455万円	444万円	↑
29	メディカル	医療コンサルティング	455万円	435万円	↑
29	メーカー	鉄鋼／金属メーカー	455万円	455万円	→
32	メーカー	ゲーム／アミューズメント機器メーカー	452万円	490万円	↓
33	IT／通信	ハードウェア／ソフトウェア／パッケージベンダ	451万円	451万円	→
34	金融	クレジット／信販	448万円	434万円	↑
35	総合商社	総合商社	446万円	434万円	↑
36	サービス	エネルギー（電力／ガス／石油／新エネルギー）	445万円	439万円	↑
36	金融	消費者金融	445万円	433万円	↑
38	インターネット／広告／メディア	代理店（広告／SP／PR）	438万円	426万円	↑
39	建設／プラント／不動産	住宅（ハウスメーカー）	437万円	427万円	↑
40	メーカー	玩具	436万円	389万円	↑
41	メディカル	大学／研究施設	430万円	443万円	↓
42	メーカー	試薬メーカー／受託合成／受託分析	424万円	444万円	↓
42	建設／プラント／不動産	土地活用	424万円	431万円	↓
44	メーカー	スポーツ／アウトドア用品	423万円	442万円	↓
45	インターネット／広告／メディア	ネット広告／Webマーケティング	422万円	416万円	↑
46	建設／プラント／不動産	設備関連／プラント	421万円	415万円	↑
47	建設／プラント／不動産	建設コンサルタント	418万円	409万円	↑
48	メディカル	医療機器卸	416万円	422万円	↓
48	金融	地方銀行	416万円	417万円	↓
50	金融	生命保険	415万円	417万円	↓

転職サービス「doda」、「平均年収ランキング2022」（2022.12）

【表④都道府県別平均年収ランキング】

順位	地域	都道府県	平均年収	前回平均年収	増減
1	関東	東京都	440万円	438万円	↑
2	関東	神奈川県	423万円	422万円	↑
3	関東	千葉県	410万円	408万円	↑
4	関東	埼玉県	401万円	397万円	↑
5	関東	茨城県	400万円	399万円	↑
6	東海	愛知県	399万円	395万円	↑
7	関東	栃木県	396万円	398万円	↓
8	東海	三重県	394万円	390万円	↑
9	東海	静岡県	391万円	389万円	↑
9	関西	滋賀県	391万円	391万円	→
9	関西	兵庫県	391万円	392万円	↓
12	中国・四国	山口県	387万円	393万円	↓
13	東海	岐阜県	386万円	382万円	↑
14	関東	山梨県	383万円	379万円	↑
14	関西	大阪府	383万円	381万円	↑
16	中国・四国	広島県	381万円	384万円	↓
16	中国・四国	香川県	381万円	372万円	↑
18	北信越	長野県	380万円	376万円	↑
19	北信越	富山県	379万円	383万円	↓
20	北信越	福井県	377万円	385万円	↓
20	関西	奈良県	377万円	384万円	↓
22	北信越	石川県	376万円	382万円	↓
22	関西	京都府	376万円	375万円	↑
24	関東	群馬県	375万円	387万円	↓

順位	地域	都道府県	平均年収	前回平均年収	増減
25	中国・四国	岡山県	372万円	370万円	↑
25	中国・四国	愛媛県	372万円	372万円	→
25	九州・沖縄	大分県	372万円	377万円	↓
28	中国・四国	徳島県	371万円	358万円	↑
28	九州・沖縄	長崎県	371万円	365万円	↑
30	北海道・東北	宮城県	370万円	371万円	↓
30	九州・沖縄	福岡県	370万円	370万円	→
32	北海道・東北	北海道	369万円	369万円	→
33	九州・沖縄	佐賀県	367万円	360万円	↑
34	北海道・東北	福島県	366万円	376万円	↓
34	関西	和歌山県	366万円	369万円	↓
36	九州・沖縄	熊本県	364万円	364万円	→
37	北海道・東北	山形県	362万円	350万円	↑
38	北海道・東北	青森県	361万円	364万円	↓
38	北信越	新潟県	361万円	359万円	↑
40	中国・四国	島根県	360万円	366万円	↓
40	九州・沖縄	宮崎県	360万円	355万円	↑
42	九州・沖縄	鹿児島県	358万円	355万円	↑
43	北海道・東北	岩手県	354万円	367万円	↓
44	北海道・東北	秋田県	351万円	371万円	↓
45	中国・四国	高知県	349万円	354万円	↓
46	中国・四国	鳥取県	347万円	382万円	↓
47	九州・沖縄	沖縄県	341万円	336万円	↑

転職サービス「doda」、「平均年収ランキング2022」(2022.12)

■調査概要

【対象者】2021年9月～2022年8月末までの間に、dodaサービスに登録した20～65歳の男女

【雇用形態】正社員

【有効回答数】約56万件

※平均年収：手取りではなく支給額

※順位算出：平均年収（万円）の整数で順位づけ

■転職サービス「doda」について < <https://doda.jp> >

「doda」は、「はたらく今日が、いい日に。」をスローガンに、転職サイトや転職エージェント、日本最大級の doda 転職フェアなど、各種コンテンツで転職希望者と求人企業の最適なマッチングを提供しています。